

令和元年度事業報告書

更生保護法人 愛知自啓会

令和元年度の事業成績につきましては、入会者63（60）名、退会者68（62）名であり、退会理由としては円満退会61（51）名、勧告退会2（0）名、無断退会0（9）名、事故退会5（2）名となっています。

宿泊供与延人員は6,493（6,426）名・食事供与延人員5,136（4,990）名です。〔（ ）内は平成30年度の数字〕

一日平均人員は令和元年度は17.8名（30年度は17.6名）です。

平成28年度6月に薬物重点更生保護施設に指定され、スマープ16の断薬プログラムを毎週2回実施しています。令和元年度の覚せい剤事犯者の入会人員は、37名であり、すべての人がプログラムを受講しており、令和元年度のプログラム実施回数は101回であり、受講延べ人員は584名です。

平成29年度からフォローアップ事業として、規制薬物等に対する依存がある保護観察対象者に対する薬物依存回復支援及び施設を退所した者に対する自立更生に向けた生活上の諸課題を解決するための生活相談支援を開始し、令和元年度は支援対象者を20人見込んでいましたが、事例はありませんでした。

当会の運営に要した経費についての収入総額は54,769,980円、支出総額は54,260,001円、当期繰越金は509,979円で正味財産は494,103,091円となっています。

駐車場経営による収益事業の収支決算は、収入額1,536,000円で税金等諸経費を引くと941,100円の収入となり、このすべては当会の運営資金として一般会計に充当しています。